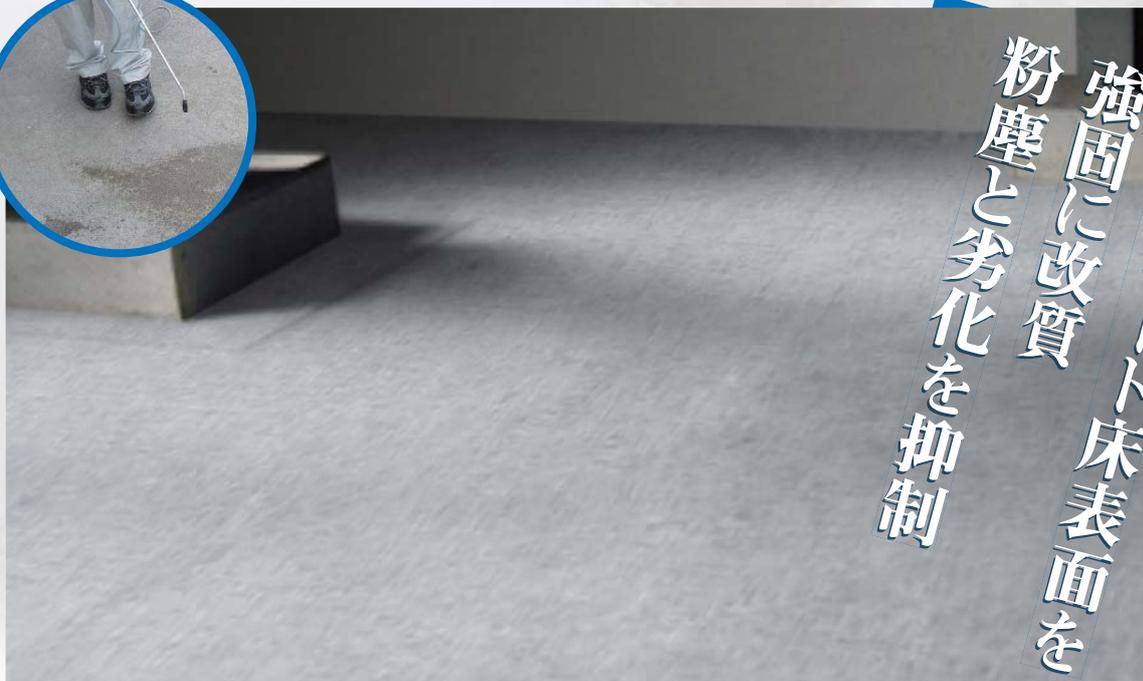


SKバリアーコート

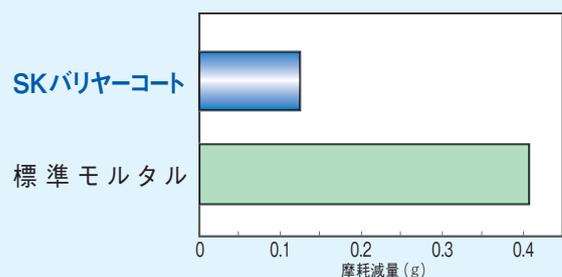
SKバリアーコートは、特殊けい酸塩を主成分とする浸透硬化型コンクリート表面強化材です。コンクリートやモルタル内部に浸透し、床表面を硬く緻密に改質することで粉塵の発生を抑制します。工場・倉庫、物流施設などの新築・改修下地や、新設のOAフロア下地の防塵用としてもご使用いただけます。



特長

- 耐摩耗性** 特殊けい酸塩がコンクリート内部に浸透し、コンクリートやモルタル成分と反応することで、緻密で強固な表面に改質します。
- 粉塵抑制** コンクリートと化学反応で改質された表面は、摩耗、劣化による粉塵の発生を抑制します。
- リフォーム性** 経年劣化したコンクリートに対しても、簡便な施工で効果が得られるため、リフォーム時の床改修にも最適です。
- 安全性** 水性タイプで臭いもほとんどなく、取り扱いも簡単です。

■耐摩耗性試験



試験条件：CS-17、荷重9.8N、500回転

用途

- コンクリート床の工場、倉庫、物流施設、駐車場など
- セメント系硬質床材(カラコン、フェロコン)の改修
- OAフロア(二重床下地)の防塵

薬品工場(酸、アルカリなどの薬品に対して)、食品工場・食堂の厨房(酢、塩、砂糖などに対して)、魚介類の解凍場(海水に対して)、防水を要求される場所には適用できません。

下地

- コンクリート、セメントモルタル、カラコン、フェロコンなど

コンクリートの混練水には、天然温泉や鉱泉近くの井戸水など、硫酸ナトリウムや、炭酸ナトリウムなどの塩類を多く含む水を使用しないでください。これらの含有量が多い場合には、SKバリアーコートを塗付後、塩類に起因する反応物がコンクリート表面に析出し、白化、変色、粉化する場合があります。

標準施工仕様

【新築仕様】

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
下地処理	●下地はよく乾燥させ、含水率8%以下、pH10以下としてください。 新設コンクリートの養生時間は、打設後夏期で3週間以上、冬期で4週間以上を目安としてください。 ●付着物やレイトランス層などがある場合、ワイヤーブラシ、ポリッシャーなどで除去した後、掃除機などで入念に清掃してください。 (ホウキを用いた掃除などは不可)							-
上塗り	SKバリアーコート	既調合	0.06~0.10	1	-	0.5以上 1以内	-	ジョーロ 低圧噴霧器
水拭き	余剰分をモップ等で拭き取り均一に塗り広げた後、塗付面を十分に水拭きしてください。				-	-	24以上	モップ

【改修仕様】

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
下地処理	●ワイヤーブラシ、ポリッシャーなどで汚れ、レイトランス、油脂を除去し、掃除機などで入念に清掃してください。 (ホウキを用いた掃除などは不可)							-
上塗り	SKバリアーコート	既調合	0.10~0.25	1	-	0.5以上 1以内	-	ジョーロ 低圧噴霧器
水拭き	余剰分をモップ等で拭き取り均一に塗り広げた後、塗付面を十分に水拭きしてください。				-	-	24以上	モップ

<施工上の注意事項>

- 施工部位を確認し、養生が適切に行われているかを確認してください。
- 下地に油が付着している場合は、有機溶剤で拭き取ってください。また、油が浸透している場合はミラクラーを散布し、デッキブラシ・ポリッシャーなどで洗浄してください。(洗浄後の乾燥工程でバーナー等の火気での強制乾燥は厳禁です。)
- 下地の状態によって、所要量が変わりますので吸い込みが大きい下地の場合は、追加で散布してください。また、凹部で材料が溜まった場合、モップ等で均一に塗り広げてください。溜まったまま硬化させると白化やひび割れが生じる場合があります。
- 材料は低圧噴霧器やジョーロなどで床面に散布してください。(スプレーガンは、材料の飛散が高範囲となり周囲に付着しますのでご使用は避けてください。)
- SKバリアーコートの仕上がりは、下地のコンクリートの仕上がりに影響を受けます。また、ひび割れ処理や欠損部跡は、SKバリアーコート塗装後そのまま残ります。
- 標準施工仕様に記載の使用量及び間隔時間を厳守してください。
- かびや藻が付着している場合は、SKカビ除去剤#5(塩素系)にて拭き取るなど、適切な下地処理をしてから塗装してください。
- 低温又は高湿度時には、乾燥が遅くなりますのでご注意ください。
- 施工後、余剰な材料は、濡れモップ等で回収してください。溜まったまま硬化させると白化やひび割れが生じる場合があります。
- 施工後、乾燥するまでの時間内に降雨などによって塗装面に水がかかりますと、白化したり、所定の耐久性能が発揮されないことがあります。乾燥過程で降雨や結露などによる水濡れがないように、所定の乾燥時間(最終養生時間)を厳守してください。
- 屋外や常時水がかりする部位では、雨水や直射日光などの影響により、材料本来の耐久性能が十分に発揮されない場合があります。
- 地下室や風通しの悪い室内の場合は、送風機を使用し、換気を確保した状態で乾燥させてください。
- 強風時、または降雨、降雪のおそれがある場合、及び気温5℃以下、湿度85%以上での施工は原則的に避けてください。気温5℃以下で施工が要求される場合は、採暖及び採暖のための養生により、雰囲気温度、被塗面温度を5℃以上にしてください。冬期においては、施工条件が特に厳しくなる場合があるため、事前に関係者と十分な打ち合わせを行ってください。
- 材料は使用前に内容物が均一になるように十分に攪拌し、開栓後は速やかに一度に使い切ってください。また材料を保管する場合は、無希釈の材料をしっかりと密栓してから直射日光を避けた冷暗所に保管し、できるだけ早めに使い切ってください。
- SKバリアーコートは強アルカリ性ですので、目や皮膚に触れたり口に入らないように適切な保護具(保護メガネ、保護手袋等)を着用して施工を行ってください。万が一、目や皮膚や口に触れた場合は、応急処置として直ちに清浄な水で十分洗い流してください。
(詳細は、SDSをご参照ください)
- 性能に支障をきたす可能性がありますので、当社指定以外の材料を混ぜないでください。



荷姿

SKバリアーコート : 18kg石油缶
(標準塗坪:180~300m²/缶(新築仕様の場合))
(標準塗坪: 72~180m²/缶(改修仕様の場合))

※上記の標準塗坪は一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。
※別途、新設のOAフロア下地の防塵用には、水性アクリル樹脂系防塵塗床材(アーキフロア AWG<着色タイプ・艶有り>、アーキフロア AW<着色タイプ・艶消し>)もご使用いただけます。
詳しくは、最寄りの各営業所へご連絡ください。

危険情報と安全対策

ご使用前には、製品容器に記載の注意事項をよくお読みください。また、安全データシート(SDS)もご参照ください。ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

施工後の注意

本製品には揮発性の化学物質が含まれております。塗装直後の引渡し等において、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。

